

令和5年度学校評価保護者アンケートについて

昨年11月にweb上にて実施いたしました保護者アンケートへの御協力、誠にありがとうございました。教職員の学校評価も含め、昨年のもので比較し、集計した結果を御報告いたします。これらを踏まえて学校全体で今年度の反省を行い、次年度より良い学校運営・学校教育活動を行っていくために準備してまいりたいと思います。

今後とも皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 実施期間

- ・保護者 令和5年11月1日（水）～14日（火）
- ・教職員 令和5年11月17日（金）～30日（木）

2 回答率

- ・保護者 79%（小学部91%、中学部75%、高等部68%、松陵校93%）
- ・教職員 100%

3 評価結果より

全体的に高い評価で、昨年度より評価が上がった項目も多くありました。

各項目の記述回答は、課題や要望、改善を望む御意見もあり、特に「障害特性の理解と個に応じた指導、支援」についての御指摘が複数ありました。一方で、本校の教育活動に対する御意見として、感謝の言葉や児童生徒の成長に関係する言葉もたくさん寄せられました。

平均値は3.5で、項目の中で低かったものは、16「校外での学習（校外学習や宿泊学習等）や授業をとおして、地域の人材や施設を活用していると思われませんか。」、17「巡回作品展（近隣校での作品展示）や居住地校学習、地域での職場実習等をとおして、地域とのつながりが図られていると思われませんか。」の2項目が3.3でした。

4 今後に向けて

今回いただいた全ての御意見を全職員で共有し、改善すべき点や反省点を各校務部や学部ごとに確認しました。今後の取組の方向性としては以下のとおりです。

（1）障害特性の理解と個に応じた指導、支援

今後も、学級担任間や学年間で、障害特性や児童生徒一人一人の実態、目標、指導の手立て等を共通理解しながら、指導に当たってまいります。より良い授業作りを目指した校内研究や指導法に関する研修会など、授業力や指導力を高めるための校内の取組を計画的に実施していきます。

（2）地域の人材や施設の活用

人材活用においては、地域の団体によるコンサート（小学部）、芸術鑑賞（小学部・中学部）、専門家による作業班の清掃指導、衛生指導、ダンスサークルの指導（高等部）、就労移行支援事業所による進路研修会（松陵校）等、校外の団体や人材を活用した取組を行っております。

学校の近隣については、周辺の散策、コンビニエンスストアや商店、郵便局、公園等の利用を日常の学習の中で行いました。校外・宿泊学習では、宮城県七ツ森希望の家、宮城県障害者福祉センター、エスポールみやぎ、グランディ21等の施設、各福祉サービス事業所、地下鉄やバス等の交通機関の利用を行いました。

学校の近隣地域に限定すると活用できる資源は限られますが、市内の施設や人材について有効に活用していくとともに、各種便りやホームページ等で取組の様子を伝えてまいります。

（3）地域とのつながり、交流活動

今年度も児童生徒巡回作品展のほかに各種作品展への出品、仙台七夕まつりへの出展等を行いました。居住地校学習は、地域の学校での授業に参加して直接交流する経験を得た児童生徒もいます。また、特別支援学校文化祭では、高等部の生徒が県庁において作業製品を販売するなど、校外の地域とのつながりがコロナ禍前のような状態に戻りつつあります。

今後、本校の児童生徒にとって意義のある交流活動の在り方を探りながら、検討していきたいと思っております。